



一般社団法人

富山県作業療法士会 ニュース

平成29年度 No.1 第124号 平成29年6月20日

発行 一般社団法人
富山県作業療法士会
会長 田村良子
印刷 (株) チューエツ

富山県作業療法士会ホームページ <http://toyama-ot.sakura.ne.jp>

富山県作業療法士会会員数：615人

富山県士会のココがスゴイ！皆さんご存知ですか？

一般社団法人 富山県作業療法士会 事務局長 島津 康二
(温泉リハビリテーションいま泉病院)



平成29年度も2カ月余りが経過しましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？

私は富山県士会の理事となって4年目、事務局長としては2年目を迎えています。まだまだ分からないことが多く、

あちこちにご迷惑をおかけしながら日々過ごしています。

そんな状況ですが、今年度から県士会ニュースの1ページ目は理事が持ち回りで担当することになりました。しかも、皆さんお気づきと思いますが今号からカラーになり、その記念すべき第1回目にどんなことをお伝えすればよいか？・・・なかなか思いつかないのですが、今回は私が理事として活動する中で知った富山県士会のすごいところ、びっくりしたことなどを紹介させていただくことにしました。理事会では時々話題に挙がりますが、きっと皆さんご存じないのでは？

一つめは、全国でも稀にみる会費納入率の高さ！です。他県士会では会費未納問題が解消できず頭を悩ませる中、富山県士会では毎年100%に近い納入率が維持されています。これはすごいことですね！全ての会員が県士会活動に理解を示しておられる証拠だと思います。

ところで、今年度から会費が値上げされています。理事会では皆さんの大切な会費を無駄なく活用できるよう、実施する事業をしっかりと吟味しています。でも皆さん気になりませんか？自分の納入した会費がどのように使われているのか？総

会では、事業報告や決算報告が行われます。ぜひ参加してみてください！

二つめは、女性が理事として活躍している割合の高さ！です。これは、女性の参画を推進したいと考えている日本作業療法士協会からもアドバイスを求められる程です。ちょっと気になったので富山周辺の県士会で女性理事・監事の割合を調べてみました！（HPで調べたので違っていたらすみません）I県では50%、A県では20%、M県では18.8%、S県では6.3%でした。では富山県士会かというと、なんと65%となっています！なるほど、これは高い割合ですね。「女性が活躍する組織は活気がある」と言われます。現在の活気を維持しつつ、私を含め、男性の皆さんも一層頑張っていきましょう！

そして、一番驚いたのは、理事会での検討事項の多さです！県士会の事業に関する検討はもちろんですが、日本作業療法士協会をはじめ、多数の関連団体や行政からの依頼に関する検討なども数多く行なわれます。これがなかなか大変な作業で、時間もかかります。しかし、作業療法士がもっと必要とされるよう活動することが、県士会の大きな目的の一つです。検討事項の数が一つの指標になると思いますので、検討事項がどんどん増えるように皆さん頑張りましょう！（-_-;）

本当はまだまだ、スゴイところがあるのですが、文字数の都合上これくらいにしておきます。今後も微力ではありますが、皆さんと協力しながら県士会の発展に貢献できたらいいな、と思います。

皆さん、どうぞよろしく願いいたします。

「第16回富山県作業療法学会の発表を終えて」

藤聖会 八尾総合病院 西田 有里

平成29年3月18日（土）第16回 富山県作業療法学会が富山国際会議場で行われました。今回私は、「当院の上肢機能アプローチの紹介～促通反復療法（川平法）を用いて～」という題で発表させていただきました。“ぜひ県士会の皆様にも促通反復療法を知って欲しい”と思い立ったことがきっかけでした。

最近では、患者様が治療法をネットで検索され、治療を選択出来る時代になってきました。その中でも、促通反復療法はニーズの高い治療法です。

当院では、昨年9月から促通反復療法を臨床で実践しています。併せて、電気刺激療法と振動刺激痙縮抑制法を行っています。発表でもお話させていただきましたが、毎日の臨床場面では促通反復療法の効果を感じています。また、患者様からも喜びの声をいただくことがあります。発表は大変緊張しましたが、患者様から「自分が役に立

てるならぜひ発表して欲しい」と背中を押されたこともあり、臨むことが出来ました。今回、発表するにあたり、患者様はじめ、川平先生、職場の上司、同僚、協力してくださった皆様に誠に感謝しています。

ぜひ促通反復療法を取り入れてみたいなと思われた方は、促通反復療法研究所 川平先端ラボのホームページを覗いて見て下さい。そして、一緒に研修に行きましょう。

発表後も、作業療法士として促通反復療法をどのように実践していくか日々考えさせられています。誰しものが「麻痺を少しでも良くしたい」という気持ちがあると思います。その気持ちに寄り添いながらも、機能重視ではなく、その先にある生活や人生、小さな喜びからやがては生き甲斐に繋がるように、対象者としっかり向き合って作業療法を実践していきたいと考えています。

学会の振り返り





運営委員の皆様、
ありがとうございました



施 設 紹 介

老人保健施設アルカディア氷見

紺、水玉、三輪、黒田

老人保健施設アルカディア氷見は、氷見インターを降りて5分ほど、山と田園に囲まれた自然豊かな中に建てられています。

当施設は入所・短期入所合わせて100名、通所は35名を定員としており、共に一般棟と認知症専門棟に分かれています。また、訪問リハビリも行っています。併設には、認知症高齢者の方々を短期集中的に治療する認知症治療病棟を有しているふるさと病院があります。

各棟は食堂・ホール・デイルーム・リハビリルームがワンフロアとなり一体化しています。それにより、利用者様の食事風景や車椅子上での姿勢等、日常での様子をその場で見る事が出来るとともに、訓練をしている様子を他の職員

も見る事ができ、利用者様の状態を職員全員が把握しやすい環境となっています。リハビリスタッフは各棟に配属し、利用者様のニーズや状態にあわせた訓練を提供しています。

施設行事としては、日々のレクはもちろん、誕生会、手作りおやつ、法話会、近隣の園児の訪問、病院・施設が一体となって行う納涼祭があります。納涼祭ではみんなで盆踊りを踊る等、毎年利用者様、ご家族様等、皆様に喜んでいただいています。

利用者様に穏やかで潤いのある生活をすごしていただけるよう職員一同、質の高いケアの提供を目指し日々励んでいます。



会員リレーコラム



市立砺波総合病院

田中 康太

県士会会員の皆様こんにちは、広報部部长・市立砺波総合病院の田中康太です。

今年度で作業療法士12年目を迎えました。広報部部长としては3年目になります。

当院は砺波医療圏の中核病院でイオンモールとなみのすぐそばにあります。急性期～回復期にかけての病院ですが、地域包括ケア病棟があり発症から在宅・施設までの役割を担っています。院内に訪問看護ステーションが併設されておりリハビリ訪問も行っています。個性のあるOT9名で、和気藹々とした雰囲気の中仕事をしています。私は現在、午前病院勤務、午後からリハビリ訪問の仕事を行っています。院内、院外での業務を両立するため大変なことは多いですが、在宅でしかみることができない部分も多くあり、日々学ばさせられます。

私事になりますが、2人の子供がいます(長女：小学1年、長男：年少児)。最近では上の子と一緒に走ったりバドミントンをすること、下の子と一緒にトミカ集めをすることがマイブームです。仕事が終わって疲れた状態で帰っても、帰宅と同時に玄関まで出迎えに来てくれて、一緒に遊ぼうと急かされます。子供達のもつ体力には脱帽です。自身の健康維持・体力向上のためにと始めたランニングも、いつの間にか子供に負けない体力作りが目的になっているよう

な気がします……。家事や育児の合間に行っているランニングを続け、ここ最近では年1回の富山マラソンに参加しています。県士会会員の中でもマラソンに参加される方は多くいると思います。今年も参加予定ですが、毎年の如くなかなかトレーニングが進まない状況です。自分に妥協しながら迎えるマラソン大会ですが、辛い思いながら走っていても、ゴールした時の感動は走った人にはしか味わえないものです。マラソン以外でも趣味や続けていることなど皆さんお持ちかと思います。自身の健康管理やモチベーションを維持するためにも、趣味活動は大切だなと感じているここ最近の日々です。

最後に、今年度から県士会ニュースがカラーになり、年4回の発行から3回に変更になりました。それに伴い、ニュース掲載記事も少し変更となっています。巻頭言は今回から理事の方に順番でお願いしていきます。また会員のリレーコラムを開始します。病院の紹介や、自身の紹介など記事は皆様にお任せします。リレー形式でお願いしていきますので、お願いされた方は快くご承諾いただきたいと思ひます。では、皆さん今後ともよろしくお祈り致します。



広報部からお知らせ

日頃より広報部の事業に御協力いただきましてありがとうございます。

今年度より県士会ニュースがカラーとなりました。

発行回数は今までの4回から3回に変更となります。

(7月・10月・2月の月初め頃予定)

ニュースに掲載してほしい記事などござ

いましたら、遠慮なくお知らせ下さい。

カラー写真などの掲載も可能です。

連絡先：市立砺波総合病院 田中康太

電話：0766-32-3320

FAX：0763-33-1487

メール：kouta.tanaka@med.tonami.toyama.jp

＜研修会案内＞

●発達障害部会研修会

テーマ：『気になる子どもの“できた!”が増える—体や手先の動きの指導—』

内容：体や手先の動きに問題を抱えている子ども達への対応と具体的な指導方法

講師：笹田 哲 氏（神奈川県立保健福祉大学大学院 保健福祉学部教授 作業療法士）

日程：平成29年7月30日(日) 9:30～15:00 (9:00～受付)

会場：富山医療福祉専門学校 参加費：3,000円

申込み：以下URLもしくは右QRコードよりお願いします

<https://goo.gl/forms/fVxKL8tSrsS4W8gW2>

問い合わせ先：国立病院機構 富山病院 本保恵介

Tel:076-469-2135,e-mail:hattatukenshu@gmail.com



●障害老人部会研修会

テーマ：「高齢者の終末期ケア、リハアプローチ」

内容：メインとなるお話は、エンドオブライフ・ケア(人生の最終段階での関わり)です。さまざまな疾患・年齢にも応用でき、難病の方やがん患者様にもつながるお話の予定です。

講師：終末期・緩和ケア作業療法研究会副会長

三重県松阪中央総合病院作業療法士 田中 一彦氏

日時：平成29年9月10日(日) 9:30～12:30 (受付開始は9:10)

会場：高岡市ふれあい福祉センター

参加費：会員2,500円 非会員3,000円 学生500円 (定員約60名)

窓口・申し込み先：金沢医科大学氷見市民病院 (担当 菅澤 大介)

FAX：0766-74-1901 (『リハビリ 菅澤』を明記してください)

E-mail：s-daisu@kanazawa-med.ac.jp

申し込み締め切り日：平成29年8月14日(月)

●福利厚生部より 懇親会のお知らせ

福利厚生部では毎年懇親会を開催しております。

新人さんからベテランさんまで親交を深め楽しい時間を過ごしましょう。

※尚、今年度より新入県土会員の皆様には原則参加していただけますようお願いいたします。

日時：平成29年9月9日(土) 19:00～

場所：富山駅前周辺「未定」

会費：3,000円前後 (自己負担) 新入県土会員は“半額”

後日、詳細と出欠確認要項を各職場へ郵送いたします。

連絡先：河井 (厚生連滑川病院) TEL：076-475-1000

作田 (西能病院) TEL：076-422-2211

または toyamaot.welfare@gmail.com

平成29年度新入会者

朝野真奈花	黒部市民病院
新井佳奈子	アルペンリハビリテーション病院
有岡まるみ	八尾総合病院
石原早紀子	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 成人療法課
稲垣実来	富山大学附属病院
今村唯奈	池田リハビリテーション病院
入江由樹	アルペンリハビリテーション病院
岩山佳蓮	あさひ総合病院
浦田有芽子	介護老人保健施設 アメニティ月岡
大谷奈央	八尾総合病院
大野汐実	西能みなみ病院
沖山容子	流杉病院
扇谷真希	介護老人保健施設 エルダーヴィラ氷見
角田祐夏理	済生会 高岡病院
角竜臣	常願寺病院
北野香花	公立学校共済組合北陸中央病院
工藤遥	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 成人療法課
斉藤友香	市立砺波総合病院
桜井遥佳	山田温泉病院
上銘真由	八尾総合病院
菅沼永	呉陽病院
関口千晶	常願寺病院
田口豊浩	介護老人保健施設 ケアポート庄川
田村友里恵	山田温泉病院
田守春香	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 成人療法課
丁子雄希	富山リハビリテーション医療福祉大学校
中嶋惟貴	アルペンリハビリテーション病院
長澤圭祐	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 成人療法課
成田大樹	松岡病院
牧野佳栄子	にしの老人保健施設
三田村未悠	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 成人療法課
南愛理	アルペンリハビリテーション病院
宮田彩乃	済生会 高岡病院
山田英里奈	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 成人療法課
湯浅千佐都	八尾総合病院
吉原有佐	富山リハビリテーション医療福祉大学校
渡邊雅行	富山リハビリテーション医療福祉大学校

会員異動等

種類	氏名	旧所属	新(現)所属	備考
異動	福山 葉菜	リハビリセンターあんじゅーる	桜井病院	
異動	黒田 悠	万葉病院	アルカディア氷見	
改姓	大宮 美樹	黒部市民病院		旧姓：山田
改姓	久保 三紀		厚生連高岡病院	旧姓：西森
改姓	竹田美貴代		真生会富山病院	旧姓：沖村
退会	中島 理佐	富山県リハビリテーション病院 こども支援センター		
退会	跡治 佳苗	自宅		
退会	西田 彩	自宅		
退会	山田 愛子	済生会 高岡病院		県外転出
退会	秋山 貴子	池田リハビリテーション病院		旧姓：石川
退会	吉澤 美紀	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター		
退会	佐藤 香子	富山協立病院		
退会	保正 朋美	藤木病院		
退会	谷口まどか	自宅		
退会	高田 真希	となみ三輪病院		
退会	清水こず枝	西能病院		
退会	湯口 美香	老人保健施設さくら苑		

平成29年度 第1回理事会

場 所：谷野呉山病院

日 時：平成29年4月10日(月) 19:00～

参加者：田村、松岡、島津、丸本、吉波、作田、
田邊、高林、齋藤、古澤、森、桐山、
松本

〈報告事項〉

1. OT協会よりMTDLP推進委員の推薦依頼－藤井氏（富山医療福祉専門学校）継続で推薦
2. OT協会平成28年度「介護予防・日常生活支援総合事業に関する人材育成研修会」－2月26日 齋藤理事、大平氏（あさひ総合病院）参加
3. 認知症作業療法推進のための研修会（初級）－3月5日南砺市民病院、約80名参加。今年度も開催予定。中級、上級研修会についても検討する。
4. リハビリテーション専門職協議会－2月22日富山市認知症介護予防教室資料検討。29年度新役員、会長：田村OT士会長、事務局長：橋爪OT士会理事、副会長：堀尾氏（PT士会長）、西田氏（ST士会長）。会長はPT・OT・ST士会で持ち回りで今年度はOT
5. 富山県作業療法学会、50周年記念事業市民公開講座－3月18日富山国際会議場、参加者はOT176名、学生3名、公開講座は他職種（一般市民も含め）35名
6. （公社）富山県精神保健福祉協会 社員総会－3月23日 田村会長出席
7. 第17回東海北陸作業療法学会－11月18、19日愛知県ウイングあいち
8. 47都道府県委員会－4月22、23日東京、松岡副会長出席。年4回開催だったものが、今年度から1泊2日で年3回（4・7・1月）となる。
9. 訪問リハ委員会－5月18、19日地域リーダー会議、東京－介護老健みしまの苑一穂 稲田氏出席予定

〈検討事項〉

1. 28年度事業報告、29年度事業計画案
 - ・県士会ニュースの発行が3回に減るため、広告費を減らす方向とする。賛助会員にも伝え

る。4月に開設した富山リハビリテーション医療福祉大学校に賛助会員を打診する。

- ・29年度に新規にMTDLPの事例登録のための研修会を検討する。
- ・事業計画には研修会の日程、テーマ等をできる限り入れる。
2. 協会会員管理システムの運用と県士会員＝協会の方向性
 - 日本作業療法士協会の定款第48条に根拠あり。富山県士会としてどうするか検討していく。協会は今後5年の間に決めていきたい。
3. 30年度作業療法モデル事業
 - 協会全体で行ったらよい事業について問い合わせ有り。富山県士会から具体的な事業案は現時点ではなしと回答。
4. （公社）日本介護福祉士会 第24回全国大会・第15回日本介護学会への併設展示および大会資料への広告掲載
 - 平成29年7月15、16日 富山県民会館で開催予定。展示、広告は希望しない。

平成29年度 第2回理事会

場 所：谷野呉山病院

日 時：平成29年5月8日(月) 19:00～

参加者：田村、松岡、島津、小倉、松本、橋爪
高林、作田、谷口、丸本、吉波、浅生
田邊、古澤 財務部 藤井、広野

〈報告事項〉

1. OT協会より29－30年度生涯教育推進委員の推薦依頼－谷口理事継続で推薦（協会より女性会員を推薦するようにとの要請）
2. OT協会より特別支援教育に関わる士会担当者の推薦依頼－松本氏（くろべ工房）継続で推薦。昨年の東海北陸OT学会で現状報告済み。
3. 47都道府県委員会－4月22、23日東京、松岡副会長出席。主に福祉用具対策委員会、災害対策室、次世代育成研修について報告。次回7月1、2日は松岡副会長出席し、島津事務局長もオブザーバー参加する。
4. 都道府県連絡協議会 最終事業報告－記念誌

Toyama Prosthetics & Orthotics Service

<http://www.tpo-morita.com>



【営業品目】

義手・義足・補装具製作修理

車いす・ストーマ・補聴器

オーダーメイド靴製作

福祉用具貸与販売



360°

あなたの世界が
広がる補聴器
オーティコン
オープン

OTICON | Opn

(株) 富山県義肢製作所
富山県補聴器センター

〒930-0042 富山市泉町1丁目2-16

TEL (076) 425-4279 FAX (076) 425-4587

e-mail t-gishi@cronos.ocn.ne.jp

介護保険対応! ベッド・車椅子・レンタル!

車椅子

➔ 480円より

ベッド

➔ 700円より

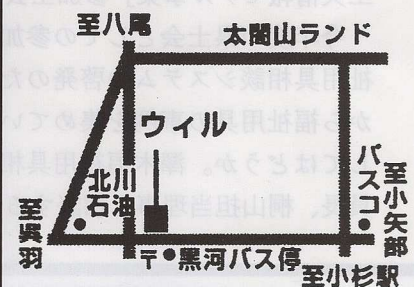
リースナブル



株式会社 **ウイル**

TEL (0766) **56-7099**

FAX **56-3395**



の刊行、各支部への助成金2万円の配布、OT協会へ記念品（絵画）の贈呈

5. 29年度OT協会「特別表彰」－県士会より田村会長を推薦したが、表彰審査会より推薦に至らないとの通知
6. OT協会国際部より国際交流実態調査の依頼－渡邊氏（富山医療福祉専門学校）に依頼
7. 教育部－6月総会時の新人研修の講義担当を能登教育部長から谷口理事に変更
8. 災害リハ委員会－4月21日 県リハ吉野Dr中心に富山JRAT設置に向けての会議開催PT・OT・ST・介護支援専門員の担当者参加
9. 県学会進捗状況－学会テーマを決定

〈検討事項〉

1. 28年度決算報告、29年度予算案
 予算案で約700万円の繰越金となり約100万円のプールが可能。毎年この金額でプールできれば10年後には事務員を雇用することが可能となる。
 事務局からの会費の納入のお知らせに4月1日からの振り込みと明記する。
2. 平成29年度功労表彰予定者
 辰己真理子氏（富山老人保健施設）
 清水 知子氏（介護老健シルバーケア今泉）
 澤田 淳子氏（介護老健サンセリテ）
 池田 佳奈氏
 （介護老健西町セントラル・ヴィレー）
 赤尾 智子氏（富山赤十字病院）
 稲垣 裕子氏（県立中央病院）
3. 各部長、委員長への委嘱状、公文書を作成し事務財務担当者会議で配布する。
4. 新入会員の部会等への配属を総会時の新人研修会で配布する。総会時の役員紹介や新人歓迎会で顔合わせできるようにする。
5. OT協会福祉用具対策委員会より「生活行為工夫情報モデル事業」参加士会の募集
 今年度の県士会としての参加は見送る。福祉用具相談システムの啓発のためにも各施設から福祉用具の事例を集めていくことを検討してはどうか。澤木福祉用具相談システム委員長、桐山担当理事と相談する。

賛助会員名簿

（順不同）

会員名（代表者）	住所
温泉リハビリテーション いま泉病院 （理事長 大西 仙泰）	〒939-8075 富山市今泉220 TEL076-425-1166
(株)ウイル （代表取締役 黒田 勉）	〒939-0311 射水市黒河3075 TEL0766-56-7099
富山医療福祉専門学校 （学校長 辻 政彦）	〒936-0023 滑川市柳原149-9 TEL076-476-0001
学校法人金城学園 金城大学 医療健康学部 （理事長 加藤 真一）	924-8511 石川県白山市笠間町1200 TEL076-276-4400(代)



編集後記

「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ」

山本五十六の有名な言葉ですが、最近、新人教育や学生指導、プライベートでは子育て等でこの言葉を実感させられます。わかってはいてもなかなかできないものですね…。

「食って寝て、太ってきたけど、見ないふり、やらねば思いも、人は動かじ」

わかってはいてもなかなかできないものですね…。やらねば、やらねば…。(K・N)